

## ● 中神熊野神社 獅子舞(春祈禱)



▲森田真澄君 藤井栄希君 真利子隆之介君

三匹獅子舞は四方に囲まれた清められた神聖な舞台上で執り行われる。その周りは6人の女の子が花笠をかぶりササラを擦り、音を奏でながら、笛太鼓と共に演技が進行する。中神の獅子舞は調和が実に美しい。獅子が身にまとった唐草模様の衣装と獅子の頭、花笠のコントラスト色彩はマニアも絶賛するほどだ。

江戸時代末期には確立されていたといわれているが、当時の人々の思いを感じることができ、古に引き込まれていく中神の獅子舞である。

東京都指定の無形民俗文化財「中神の獅子舞」による中神熊野神社例大祭「春祈禱」が、平成30年4月14日（宵宮）福厳寺・日枝神社で、15日（本宮）中神熊野神社で開催された。2日目午前中は強風の大荒れの予報でしたが、午前9時には晴天となり最高気温23度、時々強風の天気となった。本祭の熊野神社境内には、午前11時～午後4時30分まで、多くの来場者が来られ、最終演舞まで観賞する方々で会場は最後まで盛り上った。

昨年は棒使いの役者だった右 真利子隆之介君と中央 藤井栄希君、今年は獅子舞の役者としてデビューした。左 森田真澄君は、昨年デビューしている。若獅子の三頭は実に初々しく、意気もぴったりでフレッシュな演技を披露してくれた。

今後が楽しみで期待してしまう三人だ。



▲中頭 植田晃生さん 大頭 山田丈生さん 雌獅子 森田裕登さん

太刀懸かりでは三人の剣士が出演する。内容は獅子と格闘の末、不覚にも太刀を奪われてしまう。太刀をくわえた大頭と中頭獅子がそりかえって戯れ、雌獅子の前で、自慢する名場面となる。

時を超えて、雌の前でいいところを観せたいと思うのが雄の習性、世の常と伺える名場面だ。物語りの流れのなかで、三剣士は、なくてはならない存在感のある脇役であるとともに、唯一素顔で出演する役者だ。



▲植田育宏さん 岩波 正さん 平島 誠さん

太刀懸りの獅子は気力・体力・技能経験の備わったエースが抜擢される。

五穀豊穡・家内安全・無病息災とともに、子孫繁栄を祈願して獅子舞奉納の最後を締めくくっている。

地域・近郊のみならず遠方から来られた方々も、メインの太刀懸りを観賞され満足げに帰宅された。

(広報部会 / 幡垣 誠)



▲大頭 斎藤勇介さん 中頭 西川直希さん 雌獅子 斎藤和文さん